

学会通信 (二〇一四年二月～二〇一四年六月)

◎学会活動

現代中国学会共催講演会

六月二日「中華民国史研究—現在と過去との対話」山田辰雄（慶應義塾大学名誉教授）

◎学会員活動

加治宏基「だれが中国の『安全』を保障したのか?—現代中国における『development』理念の変容とその対外経済協力政策の展開」(学会報告、日本現代中国学会東海部会第二回研究報告会、二〇一四年三月一日)、「中国の世界遺産政策にみる政治的境界と文化実体の国際的承認」(馬場毅・謝政論編『民主と兩岸関係についての東アジアの観点』東方書店、二〇一四年三月)、「公共空間における公私/官民関係をめぐる日中比較—水平的官民協働にむけた試論」(『三重大学社会連携研究センター研究報告』第二一号、三重大学社会連携研究センター、二〇一四年二月)

河辺一郎「安保戦略決定、日本が問われること」(『まなぶ』二〇一四年二月号、労働大学出版センター)、「ニューヨーク・タイムスと日本」(『進歩と改革』二〇一四年五月号)、「鯨裁判」(『進歩と改革』二〇一四

年六月号)

川村亜樹「オーガスト・ウィルソンとヒップホップ—ライオンとしてのキング・ヘドリー二世」(日本アメリカ演劇学会『アメリカ演劇研究25』法政大学出版局、二〇一四年三月)、「スポーツ映画のなかのヒップホップ世代—*The Blind Side* (2009)の死角」(研究発表、アメリカ学会第四八回年次大会部会報告C「公民権法制定後半世紀、アフリカ系アメリカ人文学・文化は変わったか?」於沖繩コンベンションセンター、二〇一四年六月八日)

黄 英哲「呉燕和のライフライティング」(学会発表、日本台湾学会第一六回学術大会、於東京大学山上会館、二〇一四年五月二四日)、「興民與小説史—論許壽裳遺稿〈中国小説史〉」(学会発表、今古齋観—中国文学の古典與現代国際学術研討会、香港中文大学主催、二〇一四年五月二六日～二八日)、「歴史、記憶與書寫—論朱天心『古都』」(『南方文壇』総一六〇期、南方文壇雜誌社(廣西文聯)、二〇一四年五月)

高 明潔「日中における二重的な文化化に関する仮説—国際比較の視点に基づいて」(口頭発表、NIHU現代中国地域研究愛知大学拠点ICCS社会歴史アプローチ班第一回日中社会構造研究会、於愛知大学名古屋校舎、二〇一四年二月一七日)

高橋五郎『日中食品汚染』(文春新書、二〇一四年三月)、NHK『国際報道2014』特

集・中国農業ビジネス(テレビ番組ゲスト出演、二〇一四年四月一六日)、「日中関係の質的変容をどう理解するか—他地域の視点から捉えなおす」(『地域研究コンソーシアム(JCAS)・ニュースレター』No.16、二〇一四年三月)、「日中経済関係の構造的変容と諸問題」(ワークショップ研究報告、ICCS『現代中国学ジャーナル』二〇一四年二月)、「日本—やわらかい中国経済のはなし」連載(ウェブサイト「中日新聞プラス」二〇一四年二月～二〇一四年三月)

唐 燕霞「中国模式」の特殊性と普遍性—労使関係の視点から」(国際シンポジウム報告、於島根県立大学、二〇一四年二月) 樋泉克夫『京劇と中国人』(鄭元祉訳、新雅社、二〇一四年三月)、「東南アジアの部屋」連載(『Foreigner』(電子版)「新潮社」)、「華人企業家の夢と野望」連載(『Asai Market Review』重化学工業通信社)

松岡正子「四川のチャン族における民族文化の復興と資源化—五・一二汶川大地震後の北川羌族自治県を事例として」(武内房司・塚田誠之編『中国の民族文化資源—南部地域の分析から』風響社、二〇一四年三月)